



図書館だより

二田小学校 R2. 7. 20

読書旬間へのご協力ありがとうございました

読書旬間中は、親子読書にご協力いただき、ありがとうございました。お忙しい中、時間を確保していただくのは難しかったと思いますが、子どもたちの感想からは、おうちの方と一緒に読書ができてうれしかった気持ちが伝わってきました。また、「おうちの方から」の欄にも、たくさんの感想やメッセージを書いていただき、ありがとうございました。一部紹介させていただきます。

～おうちの方から～

- 家にはないタイプの本で新鮮でした。これからはいろいろな種類の本を読んでほしいです。（1年生保護者）
- 親が読み聞かせることが多かったのですが、子どもに読んでもらって、すらすら読めるようになってきて、新鮮で楽しかったです。妹と3人で、静かな空間で本にだけ集中できて、なかなか今までなかったので、これを機にみんなで読書したいなと思いました。（1年生保護者）
- なかなか自分から読書をはじめられなかったのですが、読み始めると、集中して読書を楽しんでいました。自分で読んだり、おもしろい場面で笑ったり、楽しそうでした。（2年生保護者）
- 「やさいのがっこう」では、いろんな野菜さんたちが大きく、そして元気になるようにがんばっていましたね。太陽の光や雨も大事でしたね。ちょうど学校でトマトを育てていると思うので、トマトちゃんの気持ちになって大切に育ててください。またいっしょに本を読みましょう。（2年生保護者）
- お兄ちゃん得意の読み聞かせをいっしょに聞きました。読み聞かせ会社の仕事もがんばっているようなので、これからはいろいろな本にふれて、続けていってほしいと思います。（3年生保護者）
- いっしょに読むつもりが、なぜか「ぼくが一人で読みたいからお母さんは聞いていて」と言われたので、しばらく聞いていました。とても大きな声でハキハキと読んでいました。最近では、お父さんとお兄ちゃんといっしょにマンガ本も読むようになり、ますます本に興味をもってくれ、とても嬉しく思います。（4年生保護者）
- たまにしか子どもと一緒に読む機会がなく、この2週間、時間があると子どもと楽しく読書をしていました。（5年生保護者）
- いっしょに楽しく読めました。好きな本から知識も得、そして楽しんでいるようです。これからも読書をたくさんしてほしいと思います。そして、たまにこうして一緒に読めたらいいなと感じました。（6年生保護者）



～子どもたちの感想～



【親子読書】

- ひとりでよむより、おうちのひととよむほうがおもしろいです。(1年生)
- なまえあてのところをよんだとき、かあちゃんがわらっていたのがふしぎでした。(1年生)
- おとうさんの読み方がおもしろかったです。(2年生)
- おかあさんと読むとわかりやすくてよかったです。またいっしょに読みたいです。(2年生)
- 楽しかったです。いつも読んでほしいです。(3年生)
- いつもは一人で読むけど、「レオくん たちあがる」をお母さんと読んだら、わくわくしました。(4年生)
- お母さんの読み方がやっぱり上手だなと思いました。また読んでほしくなる読み方でした。(5年生)
- 3年生の時に学習した「ちいちゃんのかげおくり」を6年生になって読んでみたら感動しました。お母さんと久しぶりに本を読めてよかったです。(6年生)

【読書旬間を振り返って】

- じをよむのがとくいになってほんがすきになりました。(1年生)
- たのしかったです。とくに「ばななせんせい」がおもしろかったです。(1年生)
- 「ものぐさトミー」の足にはみがきをされるころがーばんおもしろかったです。(2年生)
- いろいろな本が見られてうれしいです。ほかにもいろんな本を見ていきたいです。(2年生)
- 毎日楽しく本を読みました。これからも続けます。(3年生)
- いつもよりあつい本を集中して読めました。(4年生)
- ぜんぜん本を読んでいないので、ふだんもちゃんと毎日読みたいです。(5年生)
- 主人公の気持ちになって物語を読めてよかったです。これからも、日ごろからそういう意識をもって読書したいです。(6年生)



移動図書館についてのお知らせ

新型コロナウイルスの流行で、中止になっていた移動図書館が、7月8日(水)に久しぶりに二田小学校にやってきました。7月に借りた本は、9月まで借りておくことができます。9月の移動図書館は16日(水)です。その日までに児童玄関の返却ボックスに本を返しておいてください。

※夏休み中に、ソフィアセンターの本を借りたい人は、本を持って行って、返してから借りてください。

※夏休み前に読み終わった人は、7月28日(火)に本の回収がありますので、27日(月)までに玄関の返却ボックスに本を入れておく、持って行ってもらうことができます。(貸し出しはありません。)





子ども司書養成講座がんばっています

6月3日（水）から始まった「子ども司書養成講座」は、6月17日（水）に第2回、7月1日（水）に第3回が行われました。

第2回の講座では、おすすめの本を紹介するPOP 作りについて教えていただきました。



最初は、「どんなことを書いたらいいんだろう。」と、とまどう様子もありましたが、説明をお聞きして、他の学校の子もたちが作った見本を見せてもらうと、イメージがつかめたようで、自分が選んだ本の紹介をどんどん書き進めていました。できあがった作品です。

<p>「ハートウッドホテル」</p> <p>♡ひとりぼっちで生きてきたねずみの女の子。動物たちのホテルを見つけ、正式なスタッフとしてむかえられたが...というお話です。ぜひ手にとって読んでください。</p> <p>作：シリョーショ</p> 	<p>外来生物ずかん</p> <p>この本は外来生物の<u>名前</u>、<u>写真</u>、<u>大きさ</u>、<u>説明</u>などなど、色々な説明がかがれています。<u>表紙</u>に外来生物だ、た、などとぼくも読んで思いました。そのあなた、面白いのでぜひ読んで下さい。</p> 
<p>メガネと視力のひみつ</p> <p>ものが見えづらいと、勉強や生活の面で困ることがあるよ。そんなときに役立つのが、メガネだ。みんなで、メガネの世界に踏み出そう。</p> <p>まんが：ひろゆこ 構成：橘 悠紀</p> 	<p>きえた!?! がいけつバロリ</p> <p>さいふ はらぬたね た、たいへんたり。バロリせんせをのせたまふねが、なかりえれちまふた。</p> 

ついてくる怪談

黒い本

作: 緑川聖司
絵: 竹岡美穂

「黒い本」という題名の真・黒い本がある。その本を言売ると自分のまわりにおかしなことがあこるといううめさがある本。その本を手にとって言売ってしまった「ぼく」は、恐怖がふりかかってしまう…。怪談話とぼくの体験が入った新感覚の怪談話。黒い本が好きなあなた！ぜひ手にとり読んでみてください。

NHKおとなノベル

SIN ストラブル連鎖

高橋幹夫・みうらかれん 作

友達関係のお話です

4人組の関係が…

SNSの中で何が?

ぜひ手にとり読んでみてください!

キナコ

作: いとうみ
絵: 青山友美

ある日お姉ちゃんに、なるのにランドセルにキナコを入れたら…

ピカチュウは名たんてい2

ピカチュウが、且カ手のポケモンといっしょに、

ライバルの、かいとうニャースと、単独ともしばしば…

本です。ぜひ言売んでください!

火の鳥

舌し世へん(下)

火の鳥はしなないとりです。

なぜ、なぜおぼけボヨンでたぞ、だいやれ大がいに。

かいじりたいてゲームが、あつあつ、おもしろいので、

だてみてくち、まちがいとか、もあるから、だてみて、ください。

どれも力作で、紹介された本を読んでみたくなります。今は、図書室前に展示してあります。秋には、ソフィアセンターでも展示していただけるそうです。

第3回の様子については、次号の図書館だよりでお知らせします。

『子どもが読書好きになるヒント BOOK』をお配りしました。本好きなお笑いコンビおかずクラブの特別インタビュー、クイズ王の伊沢拓司さんやバスケットボール選手の八村塁さんから小学生に出会ってほしいおすすめの本の紹介、読む本に迷った時のワクワク診断など、子どもたちが本を手にとるためのヒントがのっています。また、アンケートに答えると、本が1冊もらえます。ぜひ、目を通してみてください。